



子供も大人も共に学び続けるマチへ



学び創造アクティブプラン

学力向上推進事業 リーフレット

第1年次(29年度版)

学力向上

「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぶ態度」

家庭

～生活習慣の見直しによる
家庭学習の習慣～

- ◆1 「早寝・早起き・朝ごはん」による基本的生活習慣の確立
- ◆2 ノーメディアチャレンジにおける家庭でのルール作り
- ◆3 宿題や家庭学習を通し、家族での見届けや対話【NEW】
- ◆4 毎月23日の家読(うちどく)の日に取り組む親子読書【NEW】

学校

～児童生徒が主体的に
学び、「わかる喜び」を
味わえる授業の創造～

- ◆1 授業構成の明確化
- ◆2 主体的・対話的で深い学びの授業づくり【NEW】
- ◆3 学習の定着化と教師の見届け【NEW】
- ◆4 ICTの積極的活用【NEW】
- ◆5 各種学力調査結果の活用と分析、学習状況を把握し、チームで個に応じた支援【NEW】

地域

～「考える力・判断する力・
表現する力」を育成する
体験活動の充実～

- ◆1 「あいさつ」から関係をつくり、「地域行事」の積極的参加
- ◆2 地域の教育力を活用した体験的な取組
- ◆3 健康で文化的な生活を送るために、生涯スポーツの推進【NEW】
- ◆4 幼児教育を学校教育に生かすために、幼稚園・保育園・こども園と連携【NEW】

所沢市教育委員会では、これまで『学び改善プロジェクト』(H23～25年度)、『学び創造プラン』(H26～28年度)と、学校・家庭・地域が総がかりで行う学力向上のための取組を推進し、子供たち一人一人の主体的な「学び」の創造を目指し、確実な成果をあげました。

これまでの取組を踏まえ、今年度スタートした『学び創造アクティブプラン』は、3年間をかけて今までの事業の発展・深化を目指すものです。『アクティブ』には、「主体的・能動的」という意味を込めました。この事業の根幹をなす理念は「**子供たちは、誰もができるようになりたいと願っている**」という子供観です。

本事業の全体講師である元文教大学教授 嶋野 道弘氏も同様に「人間は、生涯にわたって、自分のよさや可能性を求め続ける存在であり、自分の内に潜むよさや可能性を探し、自分で見付け、自ら発揮しようとするものです。」と述べられています。

現在、市内全47の小・中学校では、このリーフレットで紹介しているように様々なアプローチで、学び手である子供側の視点に立った授業改革と、家庭や地域の教育力を生かした取組を進めております。

これからも、市内で学ぶ約2万5千人の子供たちが「たくましく生き抜く力」を身に付けていけるように、学校・家庭・地域が一体となった取組を推進し、「子供も大人も共に学び続けるマチ」を目指してまいります。

